

安全データシート

1. 製品および会社情報

製品名称 WESSOCLEAN K50_(原液)
使用目的 一般除菌洗浄剤

問い合わせ先
「デリバリークリーンサービス 0120-63-8686」

2. 潜在的な危険性について

危険性情報 H319 - 皮膚刺激を起こす

ラベル要素

該当なし 危険性のある物質や混合物は不使用

*EUH210 リクエストにより安全性データシート閲覧可能

*EUH401 人体と環境のリスク回避のための指針を遵守

他の危険性

高濃度で長時間にわたる皮膚との接触を避けること
全ての化学物質は潜在的に危険性を内包するので、
特別に訓練された者によってのみ扱われる必要がある。

3. 組成および成分情報

化学物質及び混合物

過酸化水素(CAS No. 7722-84-1, EC No. 231-765-0) 濃度 : 1 - 5 %

*法令(EC) No. 1272/2008に従った分類

Ox. Liq.1 H271, Acute Tox. 4 H302, Acute Tox. 4 H332, Skin Corr. 1A H314

陽イオン界面活性剤 : 濃度 : 0.5 %以下

アニオン性界面活性剤 : 安息香酸ナトリウム(CAS No. 532-32-1)濃度 : 2 %以下

4. 応急処置

目に入った場合 大量の水ですぐに洗い流す。コンタクトレンズは外す。
もし症状が続く場合には医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合	少量の場合には水を飲む。吐き出そうとしないこと。 医師の診断を受けること。
皮膚に付着した場合	石鹼水で洗い流すこと。
吸入した場合	適切な使用範囲では危険性はない
その他	染み込んだ衣類を脱ぐ

5. 火災時の処理

消化剤

適した消化剤：泡消化剤、粉末消化剤、二酸化炭素、水
成分物質による危険性について

成分物質は可燃性がなく、それ自体は燃えない

消化時の注意事項

火災区域では空気式呼吸器を使用する事

6. 漏出時の処置

人体に対する注意事項

皮膚と目への接触を避ける

発火の元となるような物からは離れる

環境に対する注意事項

排水管、地表水、地下水などに大量に排出してはならない

回収と清掃方法

機械的に回収と清掃を行う

参照

保護処置については第8項を参照のこと

7. 取り扱い及び保管上の注意

安全な取り扱いの事前注意について

人体に関わる保護処置については第8項を参照のこと

安全な保管条件

通気キャップのある容器にしっかりとしまい、

乾燥した40℃以下の場所に、可燃性液体から遠ざけて保存

ユーザーの使用法

混合比率： 必要に応じて1%から25%

効果的に帯水システムの中の有機堆積物や微生物や臭気を取り除く。

8. ばく露防止及び保護処置

管理濃度 過酸化水素：Mac値：0.71mg/m³ または 0.5ml/m³ (DFG)

ばく露許容量

使用法と使用濃度に基づいた適切な保護服、保護具を選ばなくてはいけない

目の保護具：サイズのあった、ゴーグル

皮膚の保護具：保護グローブ（ニトリルゴム、t>0.3mm）

呼吸器の保護：意図された使用条件下では特別な保護機器は必要ない

労働衛生の為：服に染み込んだ場合にはすぐに着替える。

付着による肌への刺激を予防し、休憩前や仕事後には手洗いを
する。工作中は飲食、喫煙を控える

9. 物理及び化学特性

基礎的な物理化学特性についての情報

形状： 無色液体
匂い： わずかな酸性臭
pH__ (濃縮時 20°C) : 5.0-5.5
pH (10g/L 希釈時 20°C) : 7
比重： 1.1g/cm³
融点： -12°C
沸点： 105°C (1013hPa)
引火点： 該当なし
可燃性： 該当なし
爆発リスク： 該当なし
爆発性： 該当なし
蒸気圧 (20°C) : 約20.0hPa
水への溶解度 (20°C) : 全ての割合で混和する
熱分解： 該当なし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

当製品は通常の条件では化学的に安定である

潜在的に危険な反応

通常の条件と用途下では危険な反応は知られていない

避けるべき条件

熱応力

不適合な素材

特になし

11. 有害性情報

急性の経口毒性 LD₅₀: mg/体重kgの値が2000以下

炎症 肌： わずかな炎症

目： わずかな炎症

吸入： 知られていない

免疫感作 知られていない

追加情報 当製品は他の化学物を扱う時には注意深く扱われるべきである

12. 環境影響情報

毒性： 過酸化水素水

魚毒性 LC₅₀ : 37.4mg/l/96 h

藻毒性 EC₅₀ : 2.6mg/l/72 h

ミジンコ族毒性 EC₅₀ : 7.7mg/l/24 h (ダフニアマグナ)

残留と分解性

敏速な生分解性がある

他のマイナス効果

適切な運用と使用状況下では環境に対する有害な影響はない

1 3. 廃棄上の注意

廃棄処理方法

各地方自治体の法令に従うこと—無害廃棄物

1 4. 輸送に関する情報

UN ナンバー

不適用—無害物質

UNシッピング名

不適用—無害物質

輸送危険度

不適用—無害物質

パッキンググループ

不適用—無害物質

環境毒性

なし

使用者への特別な事前注意

不適用—無害物質

追加情報

運送上の規定上、無害物質として扱われる

1 5. 適用法令

安全、健康、環境についての関連法令と、物質、混合物のための特別法令

国内規定(D) :

ストレージクラス VCI : 12

有害水クラス : 1 (水に対するわずかな有害性)

1 6. その他の情報

法令 :

- Regulation (EC) No. 1907/2006 on classification, labelling, and packing of substances and mixtures, amending and repealing Directives 67/548/EEC and 1999/45/EG and amending Regulation (EC) No. 1907/2006

- Regulation (EC) No. 453/2010 amending Regulation (EC) No. 1907/2006

参照 :

- Hazardous substances database GESTIS

- Merck, safety data sheets

第3項で使われているHから始まる文字列について :

H271 火災や爆発を起こす可能性あり ; 強酸化剤

H302 飲み込むと有害

H314 重篤な皮膚の化学火傷と目の損傷を起こす

H332 吸引すると有害